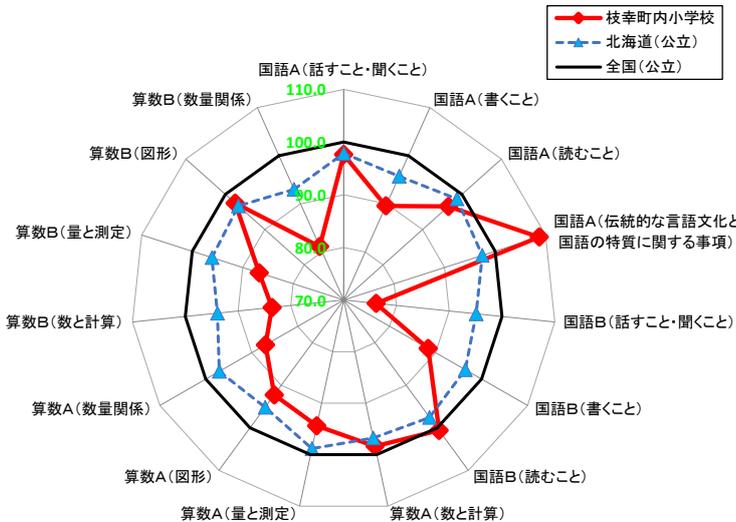


# ■ 枝幸町内小学校の状況及び学力向上策 (学校数: 9、児童数: 66名)

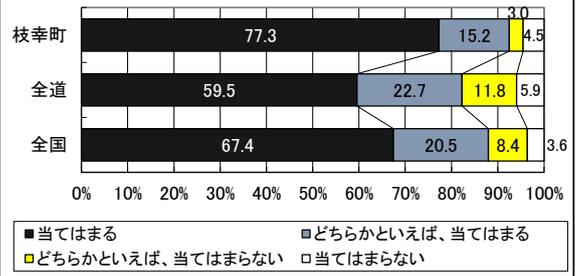
## 【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

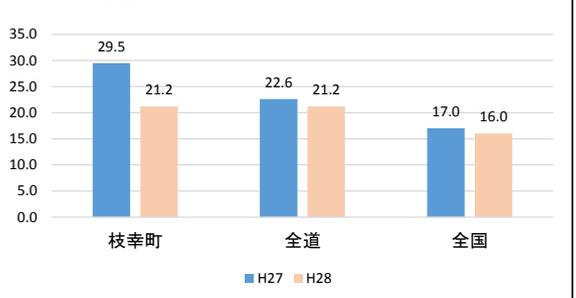


## 【児童質問紙調査】

5年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか

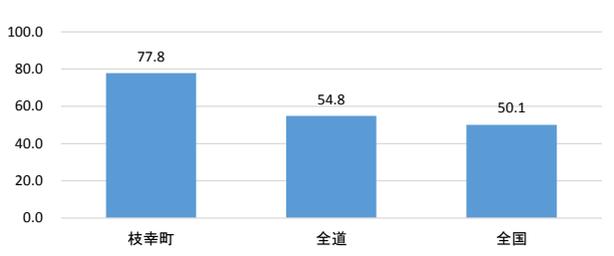


普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか(3時間以上)

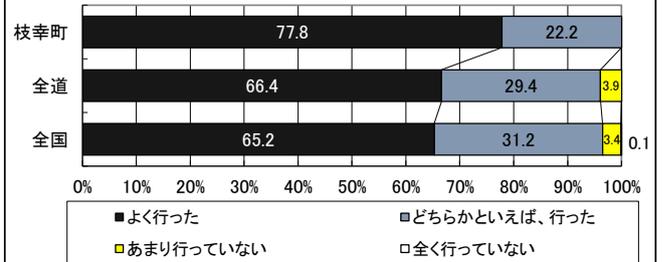


## 【学校質問紙調査】

前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れられましたか(よく行った)



前年度までに、授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導しましたか



## 【分析】

教科	○ 国語Aでは「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、国語Bでは「読むこと」で、全国を上回っている。	○ 授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れたことにより、学習内容の定着が図られ、教科に関する調査で国語Aの「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、国語Bの「読むこと」で全国を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「5年生までに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか」という質問に、「当てはまる」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。	
学校質問紙	○ 「前年度までに、授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れられましたか」という質問に、「よく行った」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。 ○ 「前年度までに、授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導しましたか」という質問に、「よく行った」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。	○ 学習した内容が残るノート指導を徹底したことにより、授業で扱うノートに目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思うと回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。 ○ 1日当たり3時間以上テレビゲームをしていると回答した児童の割合が前年度より減少しているが、全国を上回っていることから、家庭や地域と連携した生活習慣の改善を一層進める必要がある。

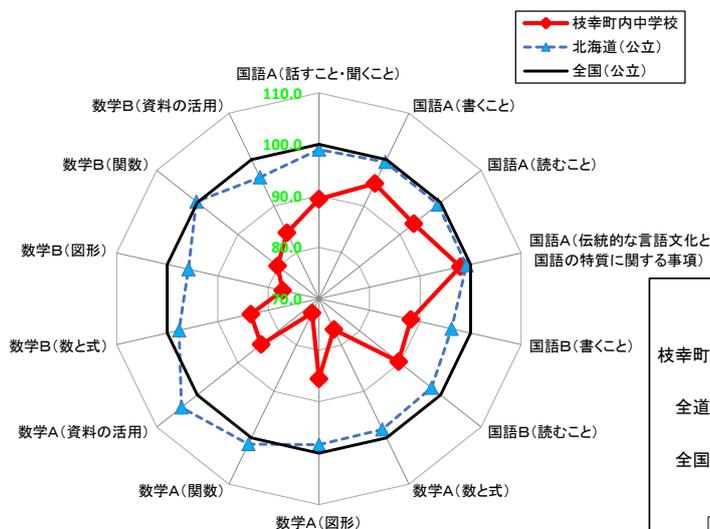
## 【枝幸町の学力向上策】

- ◎ 全国学力・学習状況調査の調査結果の分析を踏まえた学校改善プランの見直しと児童一人一人に対するきめ細かな指導の実施
- ◎ 学力向上プロジェクト会議が策定した「家庭学習のとびら」を活用した学習習慣の定着を図る取組
- ◎ 生活リズムチェックシートを活用した児童の生活習慣の改善
- ◎ 地域の学力向上支援事業による授業改善

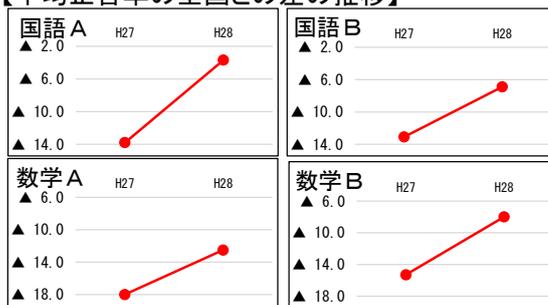
# ■枝幸町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:3、生徒数:74名)

## 【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



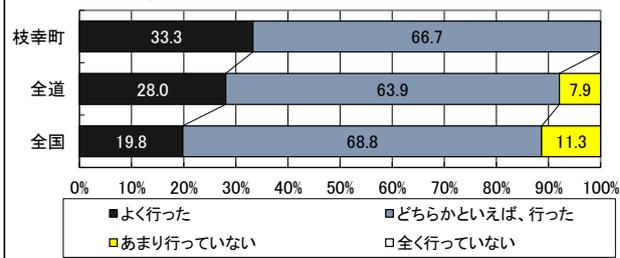
## 【平均正答率の全国との差の推移】



※「平均正答率－全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化

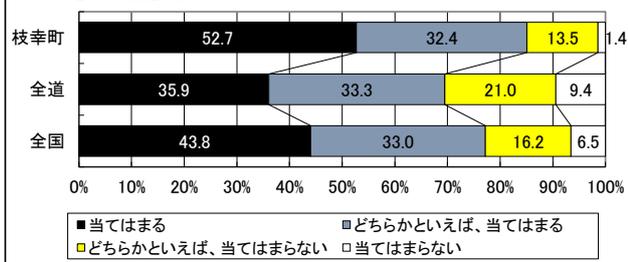
## 【学校質問紙調査】

前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか



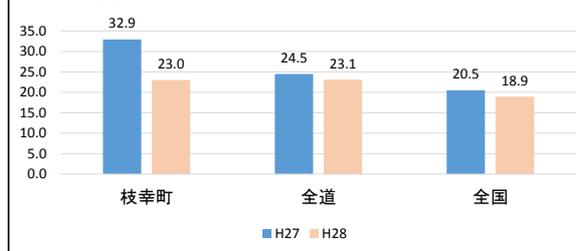
## 【生徒質問紙調査】

1・2年生のときに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか



## 【生徒質問紙調査】

普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか(3時間以上)



## 【分析】

教科	分析
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で、全国とほぼ同様となっている。</li> <li>○ 平均正答率の全国との差の推移では、すべての教科で、前年度を上回っている。</li> </ul>
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「1・2年生のときに受けた授業で扱うノートには、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思いますか」という質問に、「当てはまる」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。</li> </ul>
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか」という質問に、「よく行った」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。</li> <li>○ 習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の工夫・改善を図ったことにより、全国との差の推移において、すべての教科で前年度を上回ったと考えられる。</li> <li>○ 生徒一人一人に対するきめ細かな指導を充実させたことにより、授業で扱うノートに目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていたと思うと回答した生徒の割合が全国を上回り、学力の向上につながったと考えられる。</li> <li>○ 1日当たり3時間以上テレビゲームをしている生徒の割合が前年度より減少しているが、全国を上回っていることから、家庭や地域と連携した生活習慣の改善を一層進める必要がある。</li> </ul>

## 【枝幸町の学力向上策】

- ◎ 全国学力・学習状況調査の調査結果の分析を踏まえた学校改善プランの見直しと生徒一人一人に対するきめ細かな指導の実施
- ◎ 学力向上プロジェクト会議が策定した「家庭学習のとりま」を活用した家庭学習習慣の定着を図る取組
- ◎ 生活リズムチェックシートを活用した生徒の生活習慣の改善
- ◎ 地域の学力向上支援事業による授業改善